

平成 25 年度

**弘前市アクションプラン
第三者評価報告書**

平成 25 年 11 月

弘前市市民評価会議

目 次

1 アクションプランの第三者評価について

(1) 目的	1
(2) 評価者	1
(3) 評価対象	2
(4) 実施時期・回数等	2
(5) 実施方法	2



2 評価結果

(1) 総括	3
(2) 市民評価アンケートについて	4
(3) 評価結果一覧	5
(4) 約束・個別施策別評価内容	8
約束1	8
約束2 - (1)	12
約束2 - (2)	17
約束2 - (3)	21
約束3 - (1)	25
約束3 - (2)	29
約束4 - (1)	33
約束4 - (2)	37
約束5	41
約束6	45
約束7	49



3 市民評価を終えて

弘前市市民評価会議各委員コメント	53
------------------	----

資料

弘前市市民評価会議設置要綱	55
弘前市市民評価会議委員名簿	57



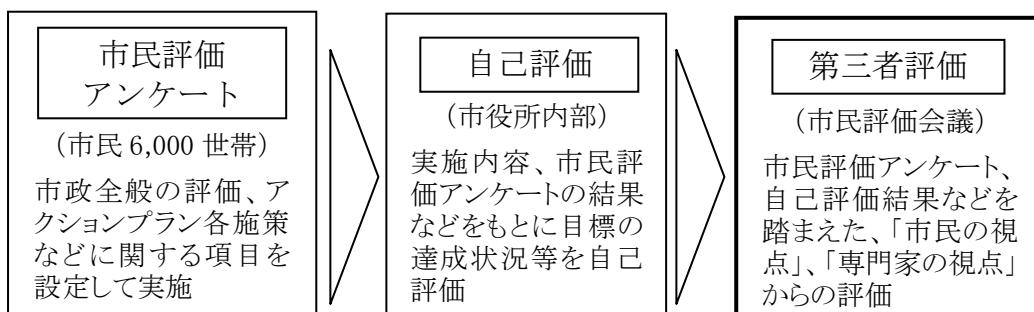
1 アクションプランの第三者評価について

(1) 目的

弘前市アクションプラン（以下「アクションプラン」という。）は、平成22年4月の葛西憲之市長の就任を受けて、同年10月に弘前市総合計画の実行計画として策定したもので、アクションプランを着実に推進し、各約束のめざす姿の実現を図るために、P D C Aサイクル（[P：計画]、[D：実行]、[C：評価]、[A：改善]）によるマネジメントシステムを確立し、市民と協働で着実な進行管理を行っている。

弘前市市民評価会議（以下「市民評価会議」という。）は、市民評価アンケートの結果等を踏まえた市役所における自己評価を参考に、“市民の実感”と“専門家の視点”から第三者評価を実施するもので、評価結果及び意見・提言等をまとめ、アクションプランの改善につなげようとするものである。

<アクションプラン評価体系>



(2) 評価者

弘前市市民評価会議委員 8名

役職	氏名	所属機関等
委員長	村松 恵二	弘前大学人文学部教授
副委員長	清野 真由美	NPO 法人弘前こどもコミュニティ・ピーぷる代表理事
委員	一戸 勝美	弘前商工会議所青年部会長
委員	新堀 猛	一般社団法人 弘前市医師会 事務局長
委員	村上 美栄子	農業生産法人(有)Anekko 代表取締役
委員	田澤 俊則	沢田ろうそく祭り実行委員会委員長
委員	佐藤 さくら	公募委員
委員	相馬 崇治	公募委員

(3) 評価対象

アクションプラン2012に基づく、平成24年度の「約束部分」、及び、「約束を実現するための個別施策」の一部を評価の対象とした。

① 7つの約束

約束1	市民民主権システムを実現します。
約束2－(1)	ひろさき農業・産業おこしに取り組みます。【農業振興】
約束2－(2)	ひろさき農業・産業おこしに取り組みます。【観光振興】
約束2－(3)	ひろさき農業・産業おこしに取り組みます。【商工業振興】
約束3－(1)	魅力あるまちづくりを進めます。【生活環境】
約束3－(2)	魅力あるまちづくりを進めます。【防災、環境・新エネルギー】
約束4－(1)	子育てするなら弘前で、を目指します。【子育て】
約束4－(2)	子育てするなら弘前で、を目指します。【人づくり】
約束5	命と暮らしを守ります。
約束6	津軽地域の中核都市として、近隣市町村との連携強化を図ります。
約束7	市職員のパワーを引き出し、市役所の仕事力を高めます。

② 個別施策

約束毎に3つの個別施策を評価対象として選定した。

(4) 実施時期・回数等

平成25年7月17日～10月15日の間に、全5回の日程で実施した。

月 日	市民評価会議	内 容
7月17日	第1回会議	・会議の運営方法について ・評価の実施方法について ・約束6及び個別施策の評価について
8月9日	第2回会議	・約束1及び個別施策の評価について ・約束2－(1)及び個別施策の評価について ・約束2－(3)及び個別施策の評価について
8月26日	第3回会議	・約束2－(2)及び個別施策の評価について ・約束3－(1)及び個別施策の評価について ・約束3－(2)及び個別施策の評価について
9月30日	第4回会議	・約束4－(1)及び個別施策の評価について ・約束4－(2)及び個別施策の評価について ・約束5及び個別施策の評価について ・約束7及び個別施策の評価について
10月15日	第5回会議	・第三者評価報告書(素案)について

(5) 実施方法

担当部課長等からのヒアリング及び質疑応答を交えた審議

2 評価結果

(1) 総括

弘前市アクションプランに係る市民評価会議における第三者評価は、今回で3回目となった。このような取り組みは、市民と向き合った市政運営の基礎となるものであり、平成25年度は、5回の会議を開催し、平成24年度における弘前市アクションプラン2012に基づく市の取り組みに対する市の自己評価内容の妥当性等に関する評価、及び今後の施策展開に向けた意見集約等を行った。

その結果は、5ページ以降の評価結果一覧のとおりであるが、評価結果の全体概要と、各分野に共通する事項や特に重要な事項等について以下に記載する。

なお、約束・個別施策毎の評価結果の詳細については、8ページ以降をご覧いただきたい。

【達成状況・進捗状況の評価について】

各約束の「めざす姿の達成状況」については、本会議と市との見解の一部に差異がみられたものの、市による自己評価の内容は概ね妥当であると判断された。

また、個別施策の達成状況についても、今年度は33施策の評価を実施し、市による自己評価内容は概ね妥当であるという結論を得た。

個別施策の大部分は工程表どおり取り組まれおり、今後も引き続き、的確な進行管理を行っていくことを求めたい。

【平成24年度弘前市アクションプラン第三者報告書への対応について】

平成24年度において、本会議が市に提出した「平成24年度弘前市アクションプラン第三者評価報告書」について、本会議が提出した評価内容を、どのように受け止め、その後の施策の展開にどのように反映させたのかを本会議に対し報告していただいた。こうした検証のプロセスは評価活動を実効性のあるものにするためには不可欠なものである。

報告内容からは、市が我々の意見や提言などを真摯に受け止め、誠実に対応していただいたことが伺える。今後も引き続き、市民目線による評価を活かした市政運営がなされるよう、市の各部局における真摯な対応をお願いしたい。

【めざす姿に向けた自己評価活動を】

まず、昨年度の第三者評価の意見を踏まえ、アクションプラン2013では、達成率として活動量指標ではなく成果指標の導入がアクションプラン2012と比較して進んだことは評価できる。

アクションプランには、その取り組みの結果として弘前市がめざす姿が、各約束において示されている。本来であれば、アクションプランを構成する事業等から得られる成果の積み重ねが、めざす姿に近づいていることを示すはずである。しかし、個別施策の目標が活動量指標になっているものがあり、自己評価における達成率が、市がどれだけ頑張ったかということだけを示す単なる通信簿となってしまっているものが散見された。むしろ、成果指標が設定できない個別施策については、敢えて目標を設定する必要は無いのではないか。

今後は、アクションプランのめざす姿に向けた一層の体系化を目指していただきたい。

【取り組みによって得られた成果、今後の方向性に関する説明責任について】

取り組み内容の自己評価については、アクションプランの進捗率と達成率に関する内容を記載しているが、一部の個別施策において、その取り組みによって得られた成果を表しきれていないものがあることが、評価審議を進める中で分かった。

取り組みにより得られた成果や今後の方向性は、取り組みを評価するに当たって必要な要素となるものであり、また、自己評価報告書を市民に公表することの目的は、既に実施した取り組み内容を伝えることの他に、その取り組みによって何を得て、その後に何をするのかを伝える役目もある。これも一つの説明責任であるので、今後の自己評価ではこのような点を留意して取り組み内容を記載していただきたい。

(2) 市民評価アンケートについて

アクションプランの評価活動には、本会議における第三者評価、市による自己評価の他に、何よりも多くの市民の声を直接聴く市民評価アンケートがあり、そのアンケート結果は、アクションプランを構成する各約束の指標や個別施策の目標として設定されている。

市民評価アンケートは、一定の費用をかけ、多くの市民から意見をいただいているものであり、特に自由意見の項目には、市民が感じる生の声が多く書かれている。単に意見をいただくだけではなく、それらの意見に対し、対応が可能なものも不可能なものも含めて、ホームページなどを通じて、できる限り市の見解を示すことが必要ではないか。それによってアンケートに応じてくれる市民が増えるなど、評価活動自体の深度も増すことが期待される。

(3) 評価結果一覧

【7つの約束】

約束	第三者評価 【自己評価の妥当性】	自己評価
約束1 市民主権システムを実現します。	市の自己評価は妥当 ※附帯意見あり	おおむね順調に推移している
約束2－(1) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます。【農業振興】	市の自己評価は妥当	成果があらわれ始めている
約束2－(2) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます。【観光振興】	市の自己評価は妥当	おおむね順調である
約束2－(3) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます。【商工業振興】	市の自己評価は妥当	めざす姿に向けて着実に近づいている
約束3－(1) 魅力あるまちづくりを進めます。【生活環境】	市の自己評価は妥当	おおむね順調に推移している
約束3－(2) 魅力あるまちづくりを進めます。【防災、環境・新エネルギー】	市の自己評価は妥当 ※附帯意見あり	遅れている
約束4－(1) 子育てするなら弘前で、を目指します。【子育て】	市の自己評価は妥当とは言い難い ※附帯意見あり	おおむね順調に推移している
約束4－(2) 子育てするなら弘前で、を目指します。【人づくり】	市の自己評価は妥当	遅れている
約束5 命と暮らしを守ります。	市の自己評価は妥当 ※附帯意見あり	遅れている
約束6 津軽地域の中核都市として、近隣市町村との連携強化を図ります。	市の自己評価は妥当 ※附帯意見あり	おおむね順調に推移している
約束7 市職員のパワーを引き出し、市役所の仕事力を高めます。	市の自己評価は妥当	成果があらわれている

【個別施策】

個別施策		第三者評価 【自己評価の妥当性】	自己評価	
			進捗率	達成率
1-2	市民参加型まちづくり1%システムを導入	妥当 ※附帯意見あり	A	C
1-4	市長車座ミーティング、車座ランチ(市政懇談会の見直し)	妥当	A	B
1-5	市役所内への”市民参画担当チーム”的設置	妥当	A	-
2-(1)-2	市内への直販店(産直マルシェ)の誘導、他県他都市との産直販売の交流実施	妥当 ※附帯意見あり	A	A
2-(1)-7	果樹共済加入促進、わい化栽培促進、りんご加工品開発の支援と病害虫に強い品種づくり・土づくりの取組強化、火傷病侵入防止	妥当	B	B
2-(1)-8	後継者育成を全力で支援、農業後継者配偶者探しの支援	妥当 ※附帯意見あり	A	B
2-(2)-2	首都圏で各種メディアに弘前を売り込む専任チーム(在東京)の設置	妥当	A	-
2-(2)-3	世界自然遺産白神山地の玄関口としての発信強化	妥当	A	B
2-(2)-8	ねぶた祭りなどの更なる誘客や街全体への波及を促進	妥当	A	B
2-(3)-2	”仕事おこしプロジェクトチーム”(しごとづくり、新産業創造、雇用対策などを担当)の設置による仕事づくり施策(オンライン技術の活用など)の積極的展開	妥当	A	A
2-(3)-3	“BUYひろさき”運動(地元產品活用の公共調達を促進)	妥当 ※附帯意見あり	C	C
2-(3)-10	空き店舗対策の推進	妥当	A	A
3-(1)-3	安全・安心の街づくりに必要な公共事業と冬期交通を確保するための除雪は確実に実施	妥当 ※附帯意見あり	B	A
3-(1)-11	街なかカラス対策の強化	妥当 ※附帯意見あり	A	B
3-(1)-14	二次交通体系の見直しによる利用促進と福祉バスなどの社会実験	妥当	B	B
3-(2)-3	自治体としての防災力強化	妥当	B	B
3-(2)-5	市立病院等の公共施設への新エネルギー導入や省エネルギーの推進	妥当 ※附帯意見あり	B	B
3-(2)-6	りんご資源リサイクル検討会議(剪定枝・バイオ燃料・搾りかす利用)の設置	妥当 ※附帯意見あり	A	B

個別施策		第三者評価 【自己評価の妥当性】	自己評価	
			進捗率	達成率
4-(1)-3-2	Smile弘前子育てマスターPLAN推進	妥当	A	A
4-(1)-6	親力向上委員会(弘前式しつけマニュアルの策定)の設置	妥当	A	A
4-(1)-7	子供会活動の活性化(地域コミュニティの復活)	妥当	A	B
4-(2)-6	「弘前マイスター」による出前授業	妥当 ※附帯意見あり	A	C
4-(2)-14	一流に触れるため文化・スポーツなどのイベントの積極的誘致	妥当 ※附帯意見あり	A	A
4-(2)-15	中学校区を基盤とした学校力・学区力・地域力の向上「夢実現ひろさき教育創生事業」	妥当	B	B
5-1	”医都ひろさき円卓会議”を設置し、医療機関のネットワークや救急医療体制を構築	妥当	A	A
5-2	高齢者の健康診断受診率向上と介護予防事業への参加促進	妥当	B	B
5-6	がん検診の受診率向上運動の実施	妥当 ※附帯意見あり	A	C
6-1	定住自立圏構想の推進(中心市の宣言)	妥当	A	A
6-2	(再)北東北の中核都市として、民間企業や公的団体の弘前市への着実な立地を推進	妥当	A	C
6-3	市町村合併の効果の最大化と一体感の醸成を推進(合併効果促進事業)	妥当	A	B
7-2	職員提案による自主財源の確保(人事評価と連動した成果主義の徹底)	妥当 ※附帯意見あり	A	B
7-3	エリア担当制度の検討など職員の地域活動への参加促進	妥当 ※附帯意見あり	A	B
7-4	窓口改革運動の実施	妥当 ※附帯意見あり	A	B

※ 自己評価の解説

「進捗率」

進捗率は、事務事業が工程表どおりに実施されたかどうかを3段階で評価している。

〈評価区分〉

A:工程表どおり実施済み B:概ね工程表どおり C:工程表より遅れている

「達成率」

達成率は、施策毎に設定している「目標」が達成されたかを、3段階で評価している。

〈評価区分〉

A:目標を達成済み B:順調に推移 C:遅れている -:判断できない

(4) 約束・個別施策別評価内容

約束1 市民主権システムを実現します。

めざす姿	市民と行政の情報共有・対話が促進され、市民が主体のまちづくりが進められています。
------	--

I 約束部分の評価

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	・めざす姿の達成状況を示す指標①「市民と行政が同じ目的を持ちパートナーとしてまちづくりに取り組んでいると思う市民を増やします」について、目標数値の上方修正を検討されたい。

個別意見	—
------	---

自己評価の内容													
自己評価	めざす姿のうち、「市民と行政の情報共有・対話が促進され、」については順調に推移しておりますが、「市民が主体のまちづくりが進められています。」については遅れています。しかし、目標値を下回った「市民参加型まちづくり1%支援事業数」についても事業数を伸ばしていることを加味すれば、全体としては、めざす姿に向けて <u>おおむね順調に推移している</u> 。												
数値目標の達成度	<p>1. 数値目標の達成率(「—」を除く「○」の割合) 6/7 ※うち注目指標(塗りつぶし項目)の達成率 1/1</p> <p>2. 各数値目標の達成状況一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>達成率 (H24目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 市民と行政が同じ目的を持ちパートナーとしてまちづくりに取り組んでいると思う市民を増やします。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>② 市民参加型まちづくり1%システム支援事業数100事業を目指します。</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>③ 「市長車座ミーティング」、「わたしのアイデアポスト」、「市政懇談会」など市民から広く意見を聞く広聴活動に満足している市民を</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>④ 広聴事業への参加者数を増やします。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>⑤ 「広報ひろさき」、「市ホームページ」など市民に広く市政情報を提供する広報活動に満足している市民を増やします。</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	達成率 (H24目標)	① 市民と行政が同じ目的を持ちパートナーとしてまちづくりに取り組んでいると思う市民を増やします。	○	② 市民参加型まちづくり1%システム支援事業数100事業を目指します。	×	③ 「市長車座ミーティング」、「わたしのアイデアポスト」、「市政懇談会」など市民から広く意見を聞く広聴活動に満足している市民を	○	④ 広聴事業への参加者数を増やします。	○	⑤ 「広報ひろさき」、「市ホームページ」など市民に広く市政情報を提供する広報活動に満足している市民を増やします。	○
指 標	達成率 (H24目標)												
① 市民と行政が同じ目的を持ちパートナーとしてまちづくりに取り組んでいると思う市民を増やします。	○												
② 市民参加型まちづくり1%システム支援事業数100事業を目指します。	×												
③ 「市長車座ミーティング」、「わたしのアイデアポスト」、「市政懇談会」など市民から広く意見を聞く広聴活動に満足している市民を	○												
④ 広聴事業への参加者数を増やします。	○												
⑤ 「広報ひろさき」、「市ホームページ」など市民に広く市政情報を提供する広報活動に満足している市民を増やします。	○												

	<table border="1"> <tr> <td>⑥ 公募可能な審議会等における公募実施割合 100%を目指します。</td><td>○</td></tr> <tr> <td>⑦ 町会や公民館、地区社協などの地域活動に参加している市民を増やします。</td><td>○</td></tr> </table> <p>関連指標</p> <table border="1"> <tr><td>弘前市長選挙投票率</td></tr> <tr><td>弘前市議会議員一般選挙投票率</td></tr> </table> <p><数値目標の達成率の区分> ○:目標を達成済み ×:目標を達成できない －:判断できない</p>	⑥ 公募可能な審議会等における公募実施割合 100%を目指します。	○	⑦ 町会や公民館、地区社協などの地域活動に参加している市民を増やします。	○	弘前市長選挙投票率	弘前市議会議員一般選挙投票率																		
⑥ 公募可能な審議会等における公募実施割合 100%を目指します。	○																								
⑦ 町会や公民館、地区社協などの地域活動に参加している市民を増やします。	○																								
弘前市長選挙投票率																									
弘前市議会議員一般選挙投票率																									
個別施策の実施状況	<p>○進捗率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 7/8</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別施策数</td><td>7</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>8</td></tr> </tbody> </table> <p><進捗率の評価区分> A:工程表どおり実施済み B:概ね工程表どおり C:工程表より遅れている －:未着手</p> <p>○達成率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 5/7</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別施策数</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>8</td></tr> </tbody> </table> <p><達成率の評価区分> A:目標を達成済み B:順調に推移 C:遅れている －:判断できない</p>		A	B	C	-	合計	個別施策数	7	0	1	0	8		A	B	C	-	合計	個別施策数	3	2	2	1	8
	A	B	C	-	合計																				
個別施策数	7	0	1	0	8																				
	A	B	C	-	合計																				
個別施策数	3	2	2	1	8																				

II 個別施策の評価

1-2	市民参加型まちづくり1%システムを導入
評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	・重要なシステムなので、更に充実させるよう一層の努力をお願いしたい。

個別意見	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年も議論となつたが、審査員の数が多いのではないか。市民に関することということで町会、福祉など、それぞれの分野から委員を選出するのは理解できるが、本来助成制度として、その事業が妥当かどうかという判断ができる方が委員になるべきではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民同士がお互いに審査してお互いに成長するということも理解できるが、本來的に、審査というのはそういうものではないのではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の議論では、美化運動や安全・安心活動などある種日常的なものについては、予算措置をした上で、町会自らに実施してもらうべきとの議論であったが、現在市の内部では、そのようなものも1%システムの中で実施してもらうという検討がなされているとすれば、方向性が違うのではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・良い事業については、今後につながるよう、例えば表彰制度を設けるなどして、このような事業が求められているのであると広く示していくべき。

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
1-2 市民参加型まちづくり1%システムを導入	A	C

1-4

市長車座ミーティング、車座ランチ(市政懇談会の見直し)

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	—

個別意見

—

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
1-4 市長車座ミーティング、車座ランチ(市政懇談会の見直し)	A	B
市長車座ミーティング、車座ランチ事業	A	B
市政懇談会	A	C

1-5

市役所内への“市民参画担当チーム”的設置

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	-
個別意見	-

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
1-5 市役所内への“市民参画担当チーム”的設置	A	-

約束2－（1）

ひろさき農業・産業おこしに取り組みます。【農業振興】

めざす姿

安全・安心な農産物の生産が拡大し、農業所得が向上します。

I 約束部分の評価

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	—
個別意見	<ul style="list-style-type: none">・農業政策の中でも、りんごに関しては、弘前産のみで展開することはできないのではないか。・ブランド化を進めるのであれば、他のりんごとの差別化を行い、そして、小手先のPRではなく根本的なマーケット調査を実施するなど、ブランド化を行うための環境づくりから始めるべき。・産地表示の義務は都道府県までであるが、少しづつでも弘前産りんごの情報を発信する必要がある。・弘前というブランドは、我々が思う以上に消費地では知られていない。まずは、青森県の中の弘前をしっかり伝えていく必要がある。・弘前はりんごがダメになると全てがダメになる。市としてもりんご課ではなく、果樹課を設置し、りんご以外の果樹栽培への政策も行ったほうがいい。

自己評価の内容

自己評価	震災前に設定した目標には届いてない状況であるが、個別施策を構成する個々の事務事業については施策の達成に向けて積極的に実行できていることに加え、弘前産りんごの大規模なキャンペーンの開催や、農商工連携の推進など、戦略的な取組みの展開により、農業所得の向上に確実に結びついており、上昇基調にもあることから、めざす姿に向けて、 <u>成果があらわれ始めている</u> 。
------	---

数値目標の達成度	<p>1. 数値目標の達成率(「-」を除く「○」の割合) 1/6 ※うち注目指標(塗りつぶし項目)の達成率 0/1</p> <p>2. 各数値目標の達成状況一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th><th>達成率 (H24目標)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>① りんご販売額 360 億円を目指します。</td><td>-</td></tr> <tr><td>② 農業生産法人数(累計) 36 団体を目指します。</td><td>×</td></tr> <tr><td>③ 集落営農組織数(累計) 35 組織を目指します。</td><td>○</td></tr> <tr><td>④ 果樹共済加入率 45.7%を目指します。</td><td>×</td></tr> <tr><td>⑤ わい化栽培率 20.0%を目指します。</td><td>×</td></tr> <tr><td>⑥ りんご海外輸出量 30,000 トン(青森県産)を目指します。</td><td>×</td></tr> <tr><td>⑦ 主要農産物直売所の販売金額 16.97 億円を目指します。</td><td>×</td></tr> </tbody> </table> <p>関連指標</p> <table border="1"> <tr><td>農業算出額</td></tr> </table> <p>〈数値目標の達成率の区分〉 ○:目標を達成済み ×:目標を達成できない -:判断できない</p>	指 標	達成率 (H24目標)	① りんご販売額 360 億円を目指します。	-	② 農業生産法人数(累計) 36 団体を目指します。	×	③ 集落営農組織数(累計) 35 組織を目指します。	○	④ 果樹共済加入率 45.7%を目指します。	×	⑤ わい化栽培率 20.0%を目指します。	×	⑥ りんご海外輸出量 30,000 トン(青森県産)を目指します。	×	⑦ 主要農産物直売所の販売金額 16.97 億円を目指します。	×	農業算出額						
指 標	達成率 (H24目標)																							
① りんご販売額 360 億円を目指します。	-																							
② 農業生産法人数(累計) 36 団体を目指します。	×																							
③ 集落営農組織数(累計) 35 組織を目指します。	○																							
④ 果樹共済加入率 45.7%を目指します。	×																							
⑤ わい化栽培率 20.0%を目指します。	×																							
⑥ りんご海外輸出量 30,000 トン(青森県産)を目指します。	×																							
⑦ 主要農産物直売所の販売金額 16.97 億円を目指します。	×																							
農業算出額																								
<p>○進捗率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 15/15</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>個別施策数</td><td>13</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>15</td></tr> </tbody> </table> <p>〈進捗率の評価区分〉 A:工程表どおり実施済み B:概ね工程表どおり C:工程表より遅れている -:未着手</p> <p>○達成率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 12/14</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>個別施策数</td><td>5</td><td>7</td><td>2</td><td>1</td><td>15</td></tr> </tbody> </table> <p>〈達成率の評価区分〉 A:目標を達成済み B:順調に推移 C:遅れている -:判断できない</p>		A	B	C	-	合計	個別施策数	13	2	0	0	15		A	B	C	-	合計	個別施策数	5	7	2	1	15
	A	B	C	-	合計																			
個別施策数	13	2	0	0	15																			
	A	B	C	-	合計																			
個別施策数	5	7	2	1	15																			

II 個別施策の評価

2-(1)-2

市内への直販店(産直マルシェ)の誘導、他県他都市との
産直販売の交流実施

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	・農家の意向を十分に組み入れ、在り方の改善方法を探っていただきたい。

個別意見	・かなりの税金を投資しているマルシェは、出店した人の利益が上がらないと本当の意味の地産地消と言えない。
	・東京のようなマルシェもいいが、弘前には弘前にあったマルシェがある。今後、市の事業から離れ、出店者が主体的に運営していくことになった場合に向けた在り方の検討を行う必要がある。
	・農業所得の向上を目指した事業であるが、事業費と売り上げ目標を比べても非常にコストパフォーマンスが悪い。売上高や所得向上の具体的な数値目標が必要。
	・補助金は市民にはありがたいものではあるが、持続可能な事業にするために、きちんと在り方を考えるべき。

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
2-(1)-2 市内への直販店(産直マルシェ)の誘導、他県他都市との産直販売の交流実施	A	A
(1)産直マルシェ事業	A	A
(2)産直交流事業	A	A

2-(1)-7

果樹共済加入促進、わい化栽培促進、りんご加工品開発の支援と
病害虫に強い品種づくり・土づくりの取り組み強化、火傷病侵入防止

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	-

個別意見	-
------	---

■自己評価の内容		
個別施策名	進捗率	達成率
2-(1)-7 果樹共済加入促進、わい化栽培促進、りんご加工品開発の支援と病害虫に強い品種づくり・土づくりの取り組み強化、火傷病侵入防止	B	B
果樹共済加入促進		
(1)果樹共済加入促進対策事業	A	B
(2)果樹共済加入誘導事業	A	B
わい化栽培促進		
りんご園改植事業	A	B
りんご加工品開発の支援		
農商工連携促進事業	A	B
病害虫に強い品種づくり・土づくりの取り組み強化		
(1)青森県・研究機関等への要望	A	A
(2)りんご新品種開発推進事業	A	-
(3)農業残さ堆肥化推進事業	A	-
火傷病侵入防止		
(1)東北市長会・全国市長会を通じた国に対する要望	C	C
(2)青森県に対する重点要望	A	A

2-(1)-8 後継者育成を全力で支援、農業後継者配偶者探しの支援

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	・出会いの場を提供するイベントについて、行政も行っているが、民間でも様々取り組まれている。よって、行政は、イベントなど民間にできることは民間に任せ、例えば、農業後継者用市営住宅を作るなど、行政にしかできないハード面の整備などをすべき。

個別意見	-
------	---

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
2-(1)-8 後継者育成を全力で支援、農業後継者配偶者探しの支援	A	B
(1)担い手育成総合行動計画策定	A	B
(2)農業後継者りんご整枝せん定講習会兼競技会事業	A	A
(3)弘前市青年交流会実行委員会事業費補助金	A	B
(4)独身農業後継者マナー研修会事業	A	B
(5)家族経営協定締結支援事業	A	A

約束2－（2）

ひろさき農業・産業おこしに取り組みます。【観光振興】

めざす姿	東北新幹線新青森駅開業や弘前城築城400年祭などを契機に、交流人口が増加することによって、観光関連産業が活性化し、雇用拡大が図られます。
------	--

I 約束部分の評価

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	—

個別意見	<ul style="list-style-type: none">・一番大切なのは「おもてなし」。弘前に来てよかったですなと思ってもらえるような、おもてなしの精神を指標として設定できればいいのではないか。・行祭事イベント観光入込客数について、既存のイベント等だけではなく、新たに取り組んでいるイベント等の観光入込客数も算入できる指標及び目標が設定できるよう工夫をするべきである。・例えば、関連指標の市独自の調査による宿泊客数の推移を見ても、さほど東日本大震災の影響を受けたと思えない。様々なイベントを実施したから少ない影響で済んだと言うが、実際それを諮るのは難しい。そこが政策評価の難しいところではある。・観光政策には多額の費用を要しているが、それに見合う成果を得られたのかどうかが分かり難い。少しでも分かるようにしていただきたい。・弘前公園には静かにお城があるだけだが、若武者の格好をしたおもてなし隊のようなものに取り組めば、これまでと違った観光客を取り込むことができるのではないか。
------	--

自己評価の内容																									
自己評価	東日本大震災により大きな打撃を受けたが、「弘前感交劇場」をキーワードに、街歩きを中心とした着地型観光の充実、広域観光の推進及び秋・冬観光の充実など年間を通じた観光客の誘客を図る取組みを行ってきた結果、指標の多くは、目標とした数値には届かなかったものの東日本大震災前の水準に回復することができたことから、総体的には <u>おおむね順調である。</u>																								
数値目標の達成度	<p>1. 数値目標の達成率(「-」を除く「○」の割合) 1/5 ※うち注目指標(塗りつぶし項目)の達成率 1/2</p> <p>2. 各数値目標の達成状況一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th><th>達成率 (H24 目標)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光入込客数 500 万人を目指します。(約 10%増)</td><td>○</td></tr> <tr> <td>① 行祭事・イベント観光入込客数 550 万人を目指します。 (約 13%増)</td><td>×</td></tr> <tr> <td>② 宿泊者数 42 万人を目指します。(約 27%増)</td><td>×</td></tr> <tr> <td>③ 観光消費による経済波及効果額 530 億円を目指します。(30%増)</td><td>-</td></tr> <tr> <td>④ 外国人宿泊者数 6,400 人を目指します。(約 77%増)</td><td>×</td></tr> <tr> <td>⑤ 県内外物産展売上額 3 億円を目指します。(29.3%増)</td><td>×</td></tr> </tbody> </table> <p>関連指標</p> <table border="1"> <tr> <td>市独自の調査による宿泊者数(推計値)の推移</td></tr> </table> <p>〈数値目標の達成率の区分〉 ○:目標を達成済み ×:目標を達成できない -:判断できない</p>	指 標	達成率 (H24 目標)	観光入込客数 500 万人を目指します。(約 10%増)	○	① 行祭事・イベント観光入込客数 550 万人を目指します。 (約 13%増)	×	② 宿泊者数 42 万人を目指します。(約 27%増)	×	③ 観光消費による経済波及効果額 530 億円を目指します。(30%増)	-	④ 外国人宿泊者数 6,400 人を目指します。(約 77%増)	×	⑤ 県内外物産展売上額 3 億円を目指します。(29.3%増)	×	市独自の調査による宿泊者数(推計値)の推移									
指 標	達成率 (H24 目標)																								
観光入込客数 500 万人を目指します。(約 10%増)	○																								
① 行祭事・イベント観光入込客数 550 万人を目指します。 (約 13%増)	×																								
② 宿泊者数 42 万人を目指します。(約 27%増)	×																								
③ 観光消費による経済波及効果額 530 億円を目指します。(30%増)	-																								
④ 外国人宿泊者数 6,400 人を目指します。(約 77%増)	×																								
⑤ 県内外物産展売上額 3 億円を目指します。(29.3%増)	×																								
市独自の調査による宿泊者数(推計値)の推移																									
個別施策の実施状況	<p>○進捗率</p> <p>A又はB評価の施策数(「-」は除く) 13/13</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別施策数</td><td>13</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>13</td></tr> </tbody> </table> <p>〈進捗率の評価区分〉 A:工程表どおり実施済み B:概ね工程表どおり C:工程表より遅れている -:未着手</p> <p>○達成率</p> <p>A又はB評価の施策数(「-」は除く) 11/12</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別施策数</td><td>7</td><td>4</td><td>1</td><td>1</td><td>13</td></tr> </tbody> </table> <p>〈達成率の評価区分〉 A:目標を達成済み B:順調に推移 C:遅れている -:判断できない</p>		A	B	C	-	合計	個別施策数	13	0	0	0	13		A	B	C	-	合計	個別施策数	7	4	1	1	13
	A	B	C	-	合計																				
個別施策数	13	0	0	0	13																				
	A	B	C	-	合計																				
個別施策数	7	4	1	1	13																				

II 個別施策の評価

2-(2)-2

首都圏で各種メディアに弘前を売り込む専任チーム(在東京)の設置

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	—
個別意見	—

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
2-(2)-2 首都圏で各種メディアに弘前を売り込む専任チーム(在東京)の設置	A	—

2-(2)-3

世界自然遺産白神山地の玄関口としての発信強化

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	—
個別意見	—

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
2-(2)-3 世界自然遺産白神山地の玄関口としての発信強化	A	B

2-(2)-8

ねぶた祭りなどの更なる誘客や街全体への波及を促進

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	—

個別意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ねぶたに参加するだけではねぶた人口は育たない。子どもの頃から、ねぶた製作の段階から運行まで関われる環境整備など、観光客だけではなくて、地元のねぶた人口が増えるような取り組みも必要。 ・ねぶたの誘導は各団体に任せられていると思うが、危険な思いをすることがある。観光客にもまた来たいと思ってもらえるよう、誘導者の講習会などを実施することも必要なのではないか。 ・四大祭りも含め、築城400年祭から継続している事業がいくつもあるが、数年経過した時期を以って観光客の見込みが立つかなどの効果を分析するべき。 ・街中で外国人も含めた観光客を見かけるようになった。まち歩き観光などの通年観光に関する取り組みは、効果が出ていると思う。
------	--

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
2-(2)-8 ねぶた祭りなどの更なる誘客や街全体への波及を促進	A	B
(1)宣伝広告事業	A	B
(2)四大まつり事業	A	B
(3)観光振興事業	A	B
(4)(仮称)弘前りんご秋まつり	A	B
(5)冬を彩る光のまちづくり事業	A	B

約束2－（3）

ひろさき農業・産業おこしに取り組みます。【商工業振興】

めざす姿	にぎわい創出による商業・サービス業が活性化し、地域資源を活かした新商品開発や企業立地が促進され、雇用拡大が図られます。
------	---

I 約束部分の評価

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	－

個別意見	－
------	---

自己評価の内容

自己評価	地域経済は、先行きに不透明感がうかがわれ、依然として厳しい状況にあるものの、施策の実施状況や指標全体の傾向と注目指標の達成状況等を総合的に勘案すると、地域資源を活かした商品開発や創業などへの支援により、意欲的な取り組みは着実に増えてきているとともに、誘致企業の従業員数は目標値を達成するなど、めざす姿に向けて <u>着実に近づいている</u> 。														
数値目標の達成度	<p>1. 数値目標の達成率（「－」を除く「○」の割合） 6/6 ※うち注目指標(塗りつぶし項目)の達成率 1/1</p> <p>2. 各数値目標の達成状況一覧</p> <table border="1"><thead><tr><th>指 標</th><th>達成率 (H24 目標)</th></tr></thead><tbody><tr><td>① 施策の取り組みによる新規雇用(累計) 391 人を目指します。</td><td>○</td></tr><tr><td>② 農商工連携等振興施策の展開による商品化数(累計)34 件を目指します。</td><td>○</td></tr><tr><td>③ 技術開発等支援件数(累計)20 件を目指します。</td><td>○</td></tr><tr><td>④ 起業化支援施策の展開による起業家創出数(累計)15 人を目指します。</td><td>○</td></tr><tr><td>⑤ 中心商店街空き店舗率 8.5%を目指します。</td><td>○</td></tr><tr><td>⑥ 誘致企業における従業員数 5,560 人を目指します。</td><td>○</td></tr></tbody></table>	指 標	達成率 (H24 目標)	① 施策の取り組みによる新規雇用(累計) 391 人を目指します。	○	② 農商工連携等振興施策の展開による商品化数(累計)34 件を目指します。	○	③ 技術開発等支援件数(累計)20 件を目指します。	○	④ 起業化支援施策の展開による起業家創出数(累計)15 人を目指します。	○	⑤ 中心商店街空き店舗率 8.5%を目指します。	○	⑥ 誘致企業における従業員数 5,560 人を目指します。	○
指 標	達成率 (H24 目標)														
① 施策の取り組みによる新規雇用(累計) 391 人を目指します。	○														
② 農商工連携等振興施策の展開による商品化数(累計)34 件を目指します。	○														
③ 技術開発等支援件数(累計)20 件を目指します。	○														
④ 起業化支援施策の展開による起業家創出数(累計)15 人を目指します。	○														
⑤ 中心商店街空き店舗率 8.5%を目指します。	○														
⑥ 誘致企業における従業員数 5,560 人を目指します。	○														

	<p>関連指標</p> <table border="1"> <tr><td>従業者数</td></tr> <tr><td>有効求人倍率(弘前公共職業安定所管内)年平均</td></tr> <tr><td>第3次産業の総生産額</td></tr> <tr><td>市内製造業の製造品出荷額</td></tr> <tr><td>新規求人件数(弘前公共職業安定所管内)</td></tr> </table> <p>〈数値目標の達成率の区分〉 ○:目標を達成済み ×:目標を達成できない -:判断できない</p>	従業者数	有効求人倍率(弘前公共職業安定所管内)年平均	第3次産業の総生産額	市内製造業の製造品出荷額	新規求人件数(弘前公共職業安定所管内)																			
従業者数																									
有効求人倍率(弘前公共職業安定所管内)年平均																									
第3次産業の総生産額																									
市内製造業の製造品出荷額																									
新規求人件数(弘前公共職業安定所管内)																									
個別施策の実施状況	<p>○進捗率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 11／12</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>個別施策数</td><td>11</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>12</td></tr> </tbody> </table> <p>〈進捗率の評価区分〉 A:工程表どおり実施済み B:概ね工程表どおり C:工程表より遅れている--:未着手</p> <p>○達成率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 10／12</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>個別施�数</td><td>9</td><td>1</td><td>2</td><td>0</td><td>12</td></tr> </tbody> </table> <p>〈達成率の評価区分〉 A:目標を達成済み B:順調に推移 C:遅れている -:判断できない</p>		A	B	C	-	合計	個別施策数	11	0	1	0	12		A	B	C	-	合計	個別施�数	9	1	2	0	12
	A	B	C	-	合計																				
個別施策数	11	0	1	0	12																				
	A	B	C	-	合計																				
個別施�数	9	1	2	0	12																				

II 個別施策の評価

2-(3)-2	“仕事おこしプロジェクトチーム”(しごとづくり、新産業創造、雇用対策などを担当)の設置による仕事づくり施策(オンリーワン技術の活用など)の積極的展開
---------	--

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	-

個別意見	-
------	---

■自己評価の内容			
個別施策名	進捗率	達成率	
2-(3)-2 “仕事おこしプロジェクトチーム”(しごとづくり、新産業創造、雇用対策などを担当)の設置による仕事づくり施策(オンライン技術の活用など)の積極的展開	A	A	
(1)仕事おこし・雇用支援室設置	A	—	
(2)仕事おこし・雇用創出事業	A	A	

2-(3)-3 “BUYひろさき”運動(地元產品活用の公共調達を促進)

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	・旅館組合など母体となる組織だけではなく、小さな企業にもPRすれば、活用する企業も増えると思われることから、BUYひろさき事業そのもののPRを、きめ細かく行っていただきたい。
個別意見	・津軽塗を使って食事ができる店などを、インターネット等を通じて紹介するなど、観光客を見据えた戦略を視野に入れてこそ、地産地消が拡がり成果となる。

■自己評価の内容			
個別施策名	進捗率	達成率	
2-(3)-3 “BUYひろさき”運動(地元產品活用の公共調達を促進)	C	C	

2-(3)-10 空き店舗対策の推進

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	—
個別意見	—

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
2-(3)-10 空き店舗対策の推進	A	A
空き店舗活用支援事業	A	A
空き店舗データバンク事業	A	A

約束3－（1） 魅力あるまちづくりを進めます。【生活環境】

めざす姿	地域資源・資産の効果的な活用によるまちづくりや住環境の整備を進め、市民が暮らしやすい魅力あるまちになっています。
------	--

I 約束部分の評価

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	—

個別意見	<ul style="list-style-type: none"> ・指標の達成状況をみれば、順調に推移しているというよりは、一定の前進が見られますという程度ではないか。 ・魅力のあるまちづくりについては、ゼロに近い×もあれば、○に近い×もあると思うので自己評価は妥当かと思う。
------	--

自己評価の内容													
自己評価	数値目標は一部目標を下回っているものの、各施策等の取り組みに一定の成果が見られることから、めざす姿に向けては <u>おおむね順調に推移している。</u>												
数値目標の達成度	<p>1. 数値目標の達成率（「-」を除く「○」の割合） 2/5 ※うち注目指標(塗りつぶし項目)の達成率 1/1</p> <p>2. 各数値目標の達成状況一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>達成率 (H24目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 弘前の景観に魅力を感じる市民を増やします。</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>② 中心市街地活性化基本計画に掲げる目標指標 中心市街地歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均) 25,000</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>③ 計画的に側溝整備を進めて、道路利用者の安全確保と良好な道路環境の維持を図ります。側溝整備延長(m) 人を目指します。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>④ 「伝統的建造物群保存地区」である仲町地区電線類の地中化を 進めて、安全かつ円滑な道路交通の確保と、歴史的街並みの保全や景観向上を図ります。無電柱化整備延長(m)</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>⑤ 安全・安心な生活環境だと思う市民を増やします。</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	達成率 (H24目標)	① 弘前の景観に魅力を感じる市民を増やします。	×	② 中心市街地活性化基本計画に掲げる目標指標 中心市街地歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均) 25,000	×	③ 計画的に側溝整備を進めて、道路利用者の安全確保と良好な道路環境の維持を図ります。側溝整備延長(m) 人を目指します。	○	④ 「伝統的建造物群保存地区」である仲町地区電線類の地中化を 進めて、安全かつ円滑な道路交通の確保と、歴史的街並みの保全や景観向上を図ります。無電柱化整備延長(m)	×	⑤ 安全・安心な生活環境だと思う市民を増やします。	○
指 標	達成率 (H24目標)												
① 弘前の景観に魅力を感じる市民を増やします。	×												
② 中心市街地活性化基本計画に掲げる目標指標 中心市街地歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均) 25,000	×												
③ 計画的に側溝整備を進めて、道路利用者の安全確保と良好な道路環境の維持を図ります。側溝整備延長(m) 人を目指します。	○												
④ 「伝統的建造物群保存地区」である仲町地区電線類の地中化を 進めて、安全かつ円滑な道路交通の確保と、歴史的街並みの保全や景観向上を図ります。無電柱化整備延長(m)	×												
⑤ 安全・安心な生活環境だと思う市民を増やします。	○												

	<p>持続可能な公共交通体系を構築するため、公共交通路線の見直しを実施します。 H23 計画策定を踏まえ、H24において目標値を設定</p> <p>関連指標 弘前の景観に魅力を感じる来街者の割合</p> <p>〈数値目標の達成率の区分〉 ○:目標を達成済み ×:目標を達成できない −:判断できない</p>	−																								
個別施策の実施状況	<p>○進捗率 A又はB評価の施策数(「−」は除く) 16／19</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>−</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別施策数</td><td>14</td><td>2</td><td>3</td><td>0</td><td>19</td></tr> </tbody> </table> <p>〈進捗率の評価区分〉 A:工程表どおり実施済み B:概ね工程表どおり C:工程表より遅れている −:未着手</p> <p>○達成率 A又はB評価の施策数(「−」は除く) 18／19</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>−</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別施策数</td><td>14</td><td>4</td><td>1</td><td>0</td><td>19</td></tr> </tbody> </table> <p>〈達成率の評価区分〉 A:目標を達成済み B:順調に推移 C:遅れている −:判断できない</p>			A	B	C	−	合計	個別施策数	14	2	3	0	19		A	B	C	−	合計	個別施策数	14	4	1	0	19
	A	B	C	−	合計																					
個別施策数	14	2	3	0	19																					
	A	B	C	−	合計																					
個別施策数	14	4	1	0	19																					

II 個別施策の評価

3-(1)-3	安全・安心の街づくりに必要な公共事業と冬期交通を確保するための除雪は確実に実施
評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。

附帯意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価自体は妥当であるが、除雪に対する市民の不満は強く残っている。 ・めざす姿を追い求め、再度議論していただき、新たな目標設定について検討する必要がある。豪雪時の交通ルール作りについても議論の余地がある。 ・市民感覚では、除雪に不満があるのに、評価はAとなっているのは実感として持てないのではないか。
------	--

個別意見	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪に関するストレスは苦情に表れるが、その苦情の数を比較し減らしていくことを目標としてはいかがか。 ・苦情を減らすような具体的な政策が無く、めざす姿に向けた事業の構成になっていない。
------	---

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
3-(1)-3 安全・安心の街づくりに必要な公共事業と冬期交通を確保するための除雪は確実に実施	B	A
(1)歩道改修事業	A	A
(2)道路補修事業	A	A
(3)道路維持作業地域支援事業	A	A
(4)消流雪溝第二次面的整備Ⅲ期計画事業	C	A

3-(1)-11 街なかカラス対策の強化

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価自体は妥当であるが、カラス対策に対する市民の不満は強く残っている。

個別意見	<ul style="list-style-type: none"> ・黄色ネット+いたずらされにくいゴミの出し方を広報すればよい。 ・実態としては、糞害により汚れている。中心市街地では、毎朝磨いており、デッキブラシやバケツは皆持っている。よって、貸出を望む人はいないと思う。改善策については、カラスの習性等も考慮する必要があるので、カラス対策連絡協議会での検討内容を反映させて、対策を講じていただきたい。 ・市街地はカラス、農村部はサル、クマの問題があるが、共通しているのは環境である。根本的な対策が必要であり、協議するに当たつては農林部等も含め、関係するすべての分野を交えて検討する必要がある。
------	--

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
3-(1)-11 街なかカラス対策の強化	A	B
(1)街なかカラス対策事業	A	A
(2)黄色防鳥ネット設置事業	A	A
(3)カラス糞害対策事業	A	C
(4)カラス駆除対策事業	A	A

3-(1)-14

二次交通体系の見直しによる利用促進と福祉バスなどの社会実験

評価結果

市の自己評価は妥当であると判断する。

附帯意見

—

個別意見

・相馬地区での実証実験の実施では、利用する地域の声を聴き、効果のあるものを考えていただきたい。

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
3-(1)-14 二次交通体系の見直しによる利用促進と福祉バスなどの社会実験	B	B
(1)地域公共交通再生モデル事業	C	C
(2)公共交通利用促進事業	A	A

約束3－（2）

魅力あるまちづくりを進めます。【防災、環境・新エネルギー】

めざす姿	災害に強く、市民が暮らしやすい魅力ある低炭素・循環型のまちになっていきます。
------	--

I 約束部分の評価

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	・青森県は自主防災力が低いと言われているので、組織的な防災力向上の指標の他に、市民の各家庭における防災力に関する指標の設定を検討していただきたい。その指標を上げることで、より安全安心なまちづくりができる。

個別意見	
------	--

自己評価の内容																	
自己評価	「安全安心な生活環境を思う市民の割合」と「新エネルギーを導入した公共施設数」は目標を達成していますが、一方では、「自主防災組織結成率」など目標を達成することができなかつたものが過半数を占めるため、めざす姿に向けては <u>遅れている</u> 。																
数値目標の達成度	<p>1. 数値目標の達成率（「-」を除く「○」の割合） 2/5 ※うち注目指標（塗りつぶし項目）の達成率 0/2</p> <p>2. 各数値目標の達成状況一覧</p> <table border="1"><thead><tr><th>指 標</th><th>達成率 (H24 目標)</th></tr></thead><tbody><tr><td>① 自主防災組織結成率(世帯比率)を20%に高めます。</td><td>×</td></tr><tr><td>② 災害に対応した備蓄体制の整備を進めます。 防災アセスメントにより H24 の基準値取得後に目標値を設定</td><td>-</td></tr><tr><td>③ 安全・安心な生活環境だと思う市民を増やします。</td><td>○</td></tr><tr><td>リサイクル率 14.9%を目指します。</td><td></td></tr><tr><td>④ ※23 年度現状値は環境省が公表する「一般廃棄物処理事業実態調査」公表値、24 年度現状値は当市による速報値(概算)</td><td>×</td></tr><tr><td>⑤ 新エネルギーを導入した公共施設数8施設を目指します。</td><td>○</td></tr><tr><td>⑥ 新エネルギー・省エネルギーの補助制度による一般住宅への導入を推進します。目標年100件。</td><td>×</td></tr></tbody></table>	指 標	達成率 (H24 目標)	① 自主防災組織結成率(世帯比率)を20%に高めます。	×	② 災害に対応した備蓄体制の整備を進めます。 防災アセスメントにより H24 の基準値取得後に目標値を設定	-	③ 安全・安心な生活環境だと思う市民を増やします。	○	リサイクル率 14.9%を目指します。		④ ※23 年度現状値は環境省が公表する「一般廃棄物処理事業実態調査」公表値、24 年度現状値は当市による速報値(概算)	×	⑤ 新エネルギーを導入した公共施設数8施設を目指します。	○	⑥ 新エネルギー・省エネルギーの補助制度による一般住宅への導入を推進します。目標年100件。	×
指 標	達成率 (H24 目標)																
① 自主防災組織結成率(世帯比率)を20%に高めます。	×																
② 災害に対応した備蓄体制の整備を進めます。 防災アセスメントにより H24 の基準値取得後に目標値を設定	-																
③ 安全・安心な生活環境だと思う市民を増やします。	○																
リサイクル率 14.9%を目指します。																	
④ ※23 年度現状値は環境省が公表する「一般廃棄物処理事業実態調査」公表値、24 年度現状値は当市による速報値(概算)	×																
⑤ 新エネルギーを導入した公共施設数8施設を目指します。	○																
⑥ 新エネルギー・省エネルギーの補助制度による一般住宅への導入を推進します。目標年100件。	×																

	<p>関連指標</p> <p>弘前市内における犯罪の件数</p> <p>〈数値目標の達成率の区分〉 <input checked="" type="radio"/>:目標を達成済み <input type="checkbox"/>:目標を達成できない <input type="checkbox"/>:判断できない</p>																								
個別施策の実施状況	<p>○進捗率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 9/9</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>-</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別施策数</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈進捗率の評価区分〉 A:工程表どおり実施済み B:概ね工程表どおり C:工程表より遅れている -:未着手</p> <p>○達成率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 7/9</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>-</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別施策数</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈達成率の評価区分〉 A:目標を達成済み B:順調に推移 C:遅れている -:判断できない</p>		A	B	C	-	合計	個別施策数	7	2	0	0	9		A	B	C	-	合計	個別施策数	3	4	2	0	9
	A	B	C	-	合計																				
個別施策数	7	2	0	0	9																				
	A	B	C	-	合計																				
個別施策数	3	4	2	0	9																				

II 個別施策の評価

3-(2)-3	自治体としての防災力強化
評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	-
個別意見	・農協との協定締結を検討しているとのことで安心した。弘前市は農家が多い。農家は米や野菜などの備蓄を持っている。災害があった時は地元の農家が弘前を守ることができるというような体制にできると思う。

■自己評価の内容		
個別施策名	進捗率	達成率
3-(2)-3 自治体としての防災力強化	B	B
①防災アセスメント調査事業	A	A
②備蓄体制整備事業	C	C
③災害協定締結推進事業	A	A

3-(2)-5 市立病院等の公共施設への新エネルギー導入や省エネルギーの推進

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	・省エネルギーに関する事業であれば、その結果が出されるのが望ましい。めざす姿に向けた目標設定について検討を要する。
個別意見	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネの推進に関わる事業であれば、どれだけ省エネが進んだかが分かるものであるべき。 ・市の担当部局が頑張ったという達成率は分かるが、具体的に市民生活が改善されたかといことが目標になるべき。

■自己評価の内容		
個別施策名	進捗率	達成率
3-(1)-5 市立病院等の公共施設への新エネルギー導入や省エネルギーの推進街なかカラス対策の強化	B	B
(1)新エネルギー設備導入事業	A	A
(2)省エネルギー事業		
市立病院エスコ事業	A	—
インハウスエスコ事業	A	A
ファシリティマネジメント事業	C	C

3-(2)-6

りんご資源リサイクル検討会議(剪定枝・バイオ燃料・搾りかす利用)の設置

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	・農家の意見も聞きながら、事業の必要性の有無も含め検討していただきたい。
個別意見	-

■自己評価の内容			
個別施策名	進捗率	達成率	
3-(2)-6 りんご資源リサイクル検討会議(剪定枝・バイオ燃料・搾りかす利用)の設置	A	B	
(1)りんご資源リサイクル検討会議設置	A	A	
(2)りんご資源リサイクル対策事業	A	C	

約束4－（1）

子育てするなら弘前で、を目指します。【子育て】

めざす姿	子育てに適した環境が整って、安心して子どもを産み、元気に育てことができ、子ども達の笑顔があふれています。
------	--

I 約束部分の評価

評価結果	市の自己評価は妥当であるとは言い難い。
附帯意見	・子どもを持つ家庭の期待に応えられているかが重要なので、放課後児童健全育成事業や相談体制に満足している市民の数が重要である。しかし、いずれも目標は達成されておらず、この状況では、概ね順調であるとは言えない。

個別意見	<ul style="list-style-type: none">・アンケートからのデータの取り方などの問題ではなく、少なくとも満足度が下がっているということについては、真摯に受け止める必要があるのではないか。・子育て支援に関する政策は、非常に大変であり、市も頑張っているとは思う。しかし、一つの部署だけで考えていてもどうにもならない。市民や、企業、また市の内部でも農業関連部署、企業に関連する部署などが、例えば出生率の問題なども含め一体となって検討しなければいけない。
------	---

自己評価の内容					
自己評価	子育てに適した環境は高まる傾向が見られ、めざす姿に向けては <u>おおむね順調に推移している。</u>				
数値目標の達成度	<p>1. 数値目標の達成率（「-」を除く「○」の割合） 3/5 ※うち注目指標(塗りつぶし項目)の達成率 0/0</p> <p>2. 各数値目標の達成状況一覧</p> <table border="1"><thead><tr><th>指 標</th><th>達成率 (H24 目標)</th></tr></thead><tbody><tr><td>① 合計特殊出生率 1.30 を目指します。(市町村別合計特殊出生率 (5年毎に公表)の次回公表予定:平成 25 年度)</td><td>-</td></tr></tbody></table>	指 標	達成率 (H24 目標)	① 合計特殊出生率 1.30 を目指します。(市町村別合計特殊出生率 (5年毎に公表)の次回公表予定:平成 25 年度)	-
指 標	達成率 (H24 目標)				
① 合計特殊出生率 1.30 を目指します。(市町村別合計特殊出生率 (5年毎に公表)の次回公表予定:平成 25 年度)	-				

	<table border="1"> <tr><td>②</td><td>保育所待機児童数 0人を維持します。 ※産休・育休明け、年度途中就労による入所基準を改善します。</td><td>○</td></tr> <tr><td>③</td><td>放課後待機児童数 0人を目指します。</td><td>○</td></tr> <tr><td>④</td><td>放課後児童健全育成事業に満足している市民を増やします。</td><td>×</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>子育て支援や相談体制が整っていると思う市民を増やします。</td><td>×</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>青少年の健全育成活動(子ども会等を含む)に参加したことがある市民を増やします。</td><td>○</td></tr> </table> <p>関連指標 弘前市の出生率(人口千対)の推移(①合計特殊出生率の関連指標) (数値は暦年で取得)</p> <p><数値目標の達成率の区分> ○:目標を達成済み ×:目標を達成できない -:判断できない</p>	②	保育所待機児童数 0人を維持します。 ※産休・育休明け、年度途中就労による入所基準を改善します。	○	③	放課後待機児童数 0人を目指します。	○	④	放課後児童健全育成事業に満足している市民を増やします。	×	⑤	子育て支援や相談体制が整っていると思う市民を増やします。	×	⑥	青少年の健全育成活動(子ども会等を含む)に参加したことがある市民を増やします。	○									
②	保育所待機児童数 0人を維持します。 ※産休・育休明け、年度途中就労による入所基準を改善します。	○																							
③	放課後待機児童数 0人を目指します。	○																							
④	放課後児童健全育成事業に満足している市民を増やします。	×																							
⑤	子育て支援や相談体制が整っていると思う市民を増やします。	×																							
⑥	青少年の健全育成活動(子ども会等を含む)に参加したことがある市民を増やします。	○																							
個別施策の実施状況	<p>○進捗率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 8/8</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>個別施策数</td><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>8</td></tr> </tbody> </table> <p><進捗率の評価区分> A:工程表どおり実施済み B:概ね工程表どおり C:工程表より遅れている -:未着手</p> <p>○達成率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 7/7</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>個別施策数</td><td>6</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>8</td></tr> </tbody> </table> <p><達成率の評価区分> A:目標を達成済み B:順調に推移 C:遅れている -:判断できない</p>		A	B	C	-	合計	個別施策数	8	0	0	0	8		A	B	C	-	合計	個別施策数	6	1	0	1	8
	A	B	C	-	合計																				
個別施策数	8	0	0	0	8																				
	A	B	C	-	合計																				
個別施策数	6	1	0	1	8																				

II 個別施策の評価

4-(1)-3-2 Smile弘前子育てマスターplan推進

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	-

個別意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の力を活用した調査研究について、この自己評価報告書から見えてこない、先の事業や方向性があるのであれば、市民に伝えることができるよう見せ方を工夫していただきたい。 ・調査研究報告書に基づいて、弘前市のこの分野の施策が拡がっていくことを期待したい。
------	--

■自己評価の内容			
個別施策名		進捗率	達成率
4-(1)-3-2 Smile弘前子育てマスターplan推進 子育てスマイル(住まいる)アップ補助事業 (仮称)ワークライフバランス啓発セミナー 大学の力を活用した子育ち・子育て支援プログラム 調査研究 弘前市子ども子育て支援推進協議会	弘前子育てマスターplan推進	A	A
	子育てスマイル(住まいる)アップ補助事業	A	A
	(仮称)ワークライフバランス啓発セミナー	A	A
	大学の力を活用した子育ち・子育て支援プログラム	A	A
	調査研究 弘前市子ども子育て支援推進協議会	A	A

4-(1)-6 親力向上委員会(弘前式しつけマニュアルの策定)の設置	
評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	－

個別意見	－
------	---

■自己評価の内容			
個別施策名		進捗率	達成率
4-(1)-6 親力向上委員会(弘前式しつけマニュアルの策定)の設置		A	A

4-(1)-7

子供会活動の活性化(地域コミュニティの復活)

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	—

個別意見	・子供会活動は、子どものための活動という面もあれば、親同士の交流にもつながる面もあることから、事例を紹介するなどしてはいかがか。
------	--

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
4-(1)-7 子供会活動の活性化(地域コミュニティの復活)	A	B
(1)青少年育成委員会地区・学区対話集会	A	B
(2)子ども会活動支援事業	A	B

約束4－（2）

子育てするなら弘前で、を目指します。【人づくり】

めざす姿	次代を担う子ども達の才能が育成され、地域の伝統や文化を誇りに思い、継承する人材が育っています。
------	---

I 約束部分の評価

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	—

個別意見	—
------	---

自己評価の内容																		
自己評価	文化・芸術活動やスポーツ・レクリエーション活動等については、おおむね順調であると判断できます。一方で、小中学生の学力及び学習意欲の向上や学習内容の定着については、めざす姿に向けての各施策の取組は着実に進んでおりますが、すぐに結果が表れないものであります。そのため、施策の実施状況や指標並びに達成状況等により総合的に判断すると、めざす姿に向けて遅れている。																	
数値目標の達成度	1. 数値目標の達成率(「-」を除く「○」の割合) 4/8 ※うち注目指標(塗りつぶし項目)の達成率 2/3 2. 各数値目標の達成状況一覧																	
<table border="1"><thead><tr><th>指 標</th><th>達成率 (H24 目標)</th></tr></thead><tbody><tr><td>青森県学習状況調査における通過率順位 3 位以内を目指します。 ① 小学5年生(国・社・算・理)</td><td>×</td></tr><tr><td>中学2年生(国・社・数・理・英)</td><td>×</td></tr><tr><td>青森県学習状況調査における学習意欲の向上や学習内容の定着度を示す割合の増加を目指します。 ② 小学5年生「勉強が好きだ」</td><td>×</td></tr><tr><td>中学2年生「勉強が好きだ」</td><td>×</td></tr><tr><td>③ 小学校で33人学級を実施している学年の割合 83.3%を目指します。</td><td>○</td></tr><tr><td>④ スポーツ全国大会・東北大会参加件数 56 件を目指します。</td><td>○</td></tr><tr><td>⑤ 文化活動に関する全国大会・東北大会参加件数 7 件を目指します。</td><td>×</td></tr></tbody></table>			指 標	達成率 (H24 目標)	青森県学習状況調査における通過率順位 3 位以内を目指します。 ① 小学5年生(国・社・算・理)	×	中学2年生(国・社・数・理・英)	×	青森県学習状況調査における学習意欲の向上や学習内容の定着度を示す割合の増加を目指します。 ② 小学5年生「勉強が好きだ」	×	中学2年生「勉強が好きだ」	×	③ 小学校で33人学級を実施している学年の割合 83.3%を目指します。	○	④ スポーツ全国大会・東北大会参加件数 56 件を目指します。	○	⑤ 文化活動に関する全国大会・東北大会参加件数 7 件を目指します。	×
指 標	達成率 (H24 目標)																	
青森県学習状況調査における通過率順位 3 位以内を目指します。 ① 小学5年生(国・社・算・理)	×																	
中学2年生(国・社・数・理・英)	×																	
青森県学習状況調査における学習意欲の向上や学習内容の定着度を示す割合の増加を目指します。 ② 小学5年生「勉強が好きだ」	×																	
中学2年生「勉強が好きだ」	×																	
③ 小学校で33人学級を実施している学年の割合 83.3%を目指します。	○																	
④ スポーツ全国大会・東北大会参加件数 56 件を目指します。	○																	
⑤ 文化活動に関する全国大会・東北大会参加件数 7 件を目指します。	×																	

	<table border="1"> <tr><td>⑥ 市の文化の豊かさに満足している市民を増やします。</td><td>○</td></tr> <tr><td>⑦ 文化・芸術活動をしている市民を増やします。</td><td>○</td></tr> <tr><td>⑧ スポーツ、レクリエーションをしている市民(月1回以上)を増やします。</td><td>×</td></tr> </table>	⑥ 市の文化の豊かさに満足している市民を増やします。	○	⑦ 文化・芸術活動をしている市民を増やします。	○	⑧ スポーツ、レクリエーションをしている市民(月1回以上)を増やします。	×																		
⑥ 市の文化の豊かさに満足している市民を増やします。	○																								
⑦ 文化・芸術活動をしている市民を増やします。	○																								
⑧ スポーツ、レクリエーションをしている市民(月1回以上)を増やします。	×																								
<p><数値目標の達成率の区分></p> <p>○:目標を達成済み ×:目標を達成できない -:判断できない</p>																									
個別施策の実施状況	<p>○進捗率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 14／15</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>個別施策数</td><td>13</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>15</td></tr> </tbody> </table> <p><進捗率の評価区分> A:工程表どおり実施済み B:概ね工程表どおり C:工程表より遅れている -:未着手</p> <p>○達成率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 11／15</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>個別施策数</td><td>9</td><td>2</td><td>4</td><td>0</td><td>15</td></tr> </tbody> </table> <p><達成率の評価区分> A:目標を達成済み B:順調に推移 C:遅れている -:判断できない</p>		A	B	C	-	合計	個別施策数	13	1	1	0	15		A	B	C	-	合計	個別施策数	9	2	4	0	15
	A	B	C	-	合計																				
個別施策数	13	1	1	0	15																				
	A	B	C	-	合計																				
個別施策数	9	2	4	0	15																				

II 個別施策の評価

4-(2)-6 「弘前マイスター」による出前授業	
評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	・利用する側の意向をつかんで実施していただきたい。
個別意見	<ul style="list-style-type: none"> ・初年度であったということも理解できるが、企画する側と利用する側との意識に差があるのではないか。企画者がよいと思っても、利用する側がよしとしないこともある。利用者の声を聞いて、見つめ直す必要もあるのではないか。 ・通常、当初の計画、工程表に開催回数についても計画されていたり、進捗率がAであれば開催回数も達成するものである。

■自己評価の内容		
個別施策名	進捗率	達成率
4-(2)-6 「弘前マイスター」による出前授業	A	C

4-(2)-14	一流に触れるため文化・スポーツなどのイベントの積極的誘致
----------	------------------------------

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	・目標の設定方法について再考を進めていただきたい。

個別意見	・少子化の進展等も考慮しながら、めざす姿に近づいているかが分かり易くなる指標の設定を検討すべき。
	・テレビの子ども向け番組など、人気があって、参加者が見込めるようなものの誘致を検討してみてはいかがか。 ・市内アーティスト体験ワークショップについて、「こどもアート体験ひろば」を年1回の事業開催目標としているが、子どもにとっては体験することが大切であるので、公民館活動などで、コンスタントに実施できる仕組みにするのも大切であると思う。

■自己評価の内容		
個別施策名	進捗率	達成率
4-(2)-14 一流に触れるため文化・スポーツなどのイベントの積極的誘致	A	A
(1)文化分野		
①音楽芸術後継者育成事業他	A	A
②プロによる演劇ワークショップ	A	A
③市内アーティスト体験ワークショップ	A	A
(2)トップアスリート招致支援事業	A	A

4-(2)-15

中学校区を基盤とした学校力・学区力・地域力の向上

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	－

個別意見	・わがまちの歴史と文化探訪紹介マップについて、今の学校では、授業が多すぎて対応ができないのではないか。地元の公民館などの手も借りながら地域と連携していかなければいけない。
	・小中連携事業に関連して、少子化が進む中、例えば全国に先駆けて、同じ学び舎の中で、1階は小学校、2階は中学校にするという取り組みを行ってもいい。
・学区の再編について、例えば、旧岩木町の子ども達は、旧相馬村の学校に通った方がいい場合もある。せっかく合併したのであるから、総合的な目で地域との交流なども含めながら検討をしていただきたい。	

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
4-(2)-15 中学校区を基盤とした学校力・学区力・地域力の向上	B	B
(1)(仮称)ICT活用による小中連携推進事業	A	A
(2)小中連携教育推進事業	A	A
(3)(仮称)学校種間連携教育モデル地区事業費補助金	A	A
(4)小中連携教育推進事業費補助金	A	A
(5)中学校を支援する人材バンク活用事業	A	C
(6)史跡等公開活用事業	A	A
(7)わがまちの歴史と文化探訪・紹介マップ事業	C	C
(8)ソフトボール指導事業	A	A

約束5 命と暮らしを守ります

めざす姿	“赤ちゃんから高齢者まで”の命と暮らしの安心・安全づくりが充実し、市民が健康的な生活を送っています。
------	--

I 約束部分の評価

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	・めざす姿に向けて引き続き努力していただきたい。

個別意見	・健康だと思う市民の割合が良くないというのは当然である。健康に興味がある市民が少ないからである。よって、健診等の受診率も悪い。喫煙率、飲酒率も高い。市民の意識改革をしなければならない。
------	--

自己評価の内容																		
自己評価	生きがいを持っている 60 歳以上の市民は増加傾向にありますが、その他の項目については、年度別の現状値が低下傾向にあることから、めざす姿の達成に向けては <u>遅れている</u> 。																	
数値目標の達成度	1. 数値目標の達成率(「-」を除く「○」の割合) 4/7 ※うち注目指標(塗りつぶし項目)の達成率 2/2																	
	2. 各数値目標の達成状況一覧																	
	<table border="1"><thead><tr><th>指 標</th><th>達成率 (H24 目標)</th></tr></thead><tbody><tr><td>① 健康だと思う市民を増やします。</td><td>×</td></tr><tr><td>② 各種がん検診受診率 平成 21 年度の基準値 19.1% から 5 ポイントアップを目指します。</td><td>×</td></tr><tr><td>③ 育児に自信がもてない人ゼロを目指します。ただし、計画期間では平成 21 年度の基準値 8.0% から 2 ポイント減の 6.0% とします。</td><td>○</td></tr><tr><td>④ 自殺者数ゼロを目指します。ただし、計画期間では 48 人以下とします。(内閣府 自殺総合対策大綱目標値に準じて設定)</td><td>○</td></tr><tr><td>⑤ 自立して生活できる高齢者の割合(身の回りのことが自分でできる高齢者の割合) 79.4% をを目指します。</td><td>×</td></tr><tr><td>⑥ 生きがいを持っている 60 歳以上の市民を増やします。</td><td>○</td></tr><tr><td>⑦ 一般の民間企業における雇用障がい者数の割合 1.83% をを目指します。</td><td>○</td></tr></tbody></table>		指 標	達成率 (H24 目標)	① 健康だと思う市民を増やします。	×	② 各種がん検診受診率 平成 21 年度の基準値 19.1% から 5 ポイントアップを目指します。	×	③ 育児に自信がもてない人ゼロを目指します。ただし、計画期間では平成 21 年度の基準値 8.0% から 2 ポイント減の 6.0% とします。	○	④ 自殺者数ゼロを目指します。ただし、計画期間では 48 人以下とします。(内閣府 自殺総合対策大綱目標値に準じて設定)	○	⑤ 自立して生活できる高齢者の割合(身の回りのことが自分でできる高齢者の割合) 79.4% をを目指します。	×	⑥ 生きがいを持っている 60 歳以上の市民を増やします。	○	⑦ 一般の民間企業における雇用障がい者数の割合 1.83% をを目指します。	○
指 標	達成率 (H24 目標)																	
① 健康だと思う市民を増やします。	×																	
② 各種がん検診受診率 平成 21 年度の基準値 19.1% から 5 ポイントアップを目指します。	×																	
③ 育児に自信がもてない人ゼロを目指します。ただし、計画期間では平成 21 年度の基準値 8.0% から 2 ポイント減の 6.0% とします。	○																	
④ 自殺者数ゼロを目指します。ただし、計画期間では 48 人以下とします。(内閣府 自殺総合対策大綱目標値に準じて設定)	○																	
⑤ 自立して生活できる高齢者の割合(身の回りのことが自分でできる高齢者の割合) 79.4% をを目指します。	×																	
⑥ 生きがいを持っている 60 歳以上の市民を増やします。	○																	
⑦ 一般の民間企業における雇用障がい者数の割合 1.83% をを目指します。	○																	

	<p>関連指標</p> <table border="1"> <tr><td>生活に満足している障がい者を増やします。</td></tr> <tr><td>障がい者就労支援事業の利用人数を増やします。</td></tr> </table> <p>〈数値目標の達成率の区分〉 ○:目標を達成済み ×:目標を達成できない -:判断できない</p>	生活に満足している障がい者を増やします。	障がい者就労支援事業の利用人数を増やします。																						
生活に満足している障がい者を増やします。																									
障がい者就労支援事業の利用人数を増やします。																									
個別施策の実施状況	<p>○進捗率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 11／11</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>個別施策数</td><td>10</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>11</td></tr> </tbody> </table> <p>〈進捗率の評価区分〉 A:工程表どおり実施済み B:概ね工程表どおり C:工程表より遅れている -:未着手</p> <p>○達成率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 9／10</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>個別施策数</td><td>7</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>11</td></tr> </tbody> </table> <p>〈達成率の評価区分〉 A:目標を達成済み B:順調に推移 C:遅れている -:判断できない</p>		A	B	C	-	合計	個別施策数	10	1	0	0	11		A	B	C	-	合計	個別施策数	7	2	1	1	11
	A	B	C	-	合計																				
個別施策数	10	1	0	0	11																				
	A	B	C	-	合計																				
個別施策数	7	2	1	1	11																				

II 個別施策の評価

5-1	“医都ひろさき円卓会議”を設置し、医療機関のネットワークや救急医療体制を構築
評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	-
個別意見	・弘前は、大学病院もあるし、医療に関してはいい都市であると思う。 弘前市が青森県の先頭を切り、プラス思考を持って取り組んでいただきたい。

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
5-1 “医都ひろさき円卓会議”を設置し、医療機関のネットワークや救急医療体制を構築	A	A
(1)医都ひろさき円卓会議運営事業	A	A
(2)休日在宅医診療運営事業(外科)	A	A

5-2

高齢者の健康診断受診率向上と介護予防事業への参加促進

評価結果

市の自己評価は妥当であると判断する。

附帯意見

—

個別意見

- ・介護予防事業に参加しやすい人としにくい人では、評価に対する印象が変わるものではないか。
- ・後期高齢者健診受託事業について、通院者も対象者としているのであれば、通院者は健康診断を受診しないということも想定されるので、受診率に影響が出るのではないか。

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
5-2 高齢者の健康診断受診率向上と介護予防事業への参加促進	B	B
後期高齢者健診受託事業	A	C
特定健康診査事業	C	—
二次予防事業の対象者把握事業		
通所型介護予防事業	A	B
訪問型介護予防事業		
一次予防事業	A	A

5-6

がん検診の受診率向上運動の実施

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	・市の新しい取り組みに期待する。

個別意見	<p>・この自己評価報告書だけを見ると、ただ単にハガキを出しているだけに見える。保健衛生員による取り組みとか、新しい取り組みを考えていかなければいけないと思う。</p> <p>・ヒロロスクエアでの健診機会の増加や、健幸マイレージ制度、町会での健康に関する勧奨への補助など、新たな取り組みを行っているなら、市民にも伝わるようするべき。</p>
------	--

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
5-6 がん検診の受診率向上運動の実施	A	C

約束6

津軽地域の中核都市として、近隣市町村との連携強化を図ります。

めざす姿	弘前市が津軽地域の中核的な役割を担い、近隣市町村と医療、公共交通、観光などの分野でお互いに連携・協力することにより、地域全体の活性化が図られます。
------	---

I 約束部分の評価

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	<ul style="list-style-type: none">・合併後の検証に取り組んでいるということは評価する。・目標設定、成果指標の設定方法について検討する必要がある。合併後の不満を減らすことを目標にするのであれば、特に、岩木地区、相馬地区に関し具体的に数値化できる指標等を検討する必要がある。

個別意見	<ul style="list-style-type: none">・旧岩木町や旧相馬村の地域に関して、統計学的に必要なサンプルが取得できないのであれば、効率的なアンケート方法や回収方法の検討が必要。・分析の仕方も重要である。旧岩木町、旧相馬村と旧弘前市のデータを一緒に分析するのは無理がある。・旧岩木町、旧相馬村の声として、合併前の話と違うという声も聞こえる。両地域の実際の不満度は上がっているのか下がっているのか分からぬ。・市職員は大変頑張っているが、一部の住民から不満があることもある。それぞれの地域の良さをそれぞれの地域で分かっていないということもあるので、現場の声を聞くことは大切である。・弘前市の医療は、津軽全域のみならず、秋田県北までの中核となっており、充実しており、それによる経済効果も大きい。・弘前市の医療は充実しているが、周辺地域の医療体制には問題も残る。周辺地域の医療の充実を図る目標設定というものもあればいい。
------	--

	<p>・コメディカル(医療従事者)の不足もと言われており、指標としては医師数だけでは不足ではないか。</p> <p>・青森市より多いとされている弘前市の医師数の現状は、研修医も含まれていることから、実質的には青森市と状況は変わらないのではないか。</p>
--	---

自己評価の内容													
自己評価	個別施策の一部が成果に結びついていないものの、めざす姿に向けた達成状況は目標を達成しており、弘前市が津軽地域の中核的な役割を担い、近隣市町村との連携・協力による地域全体の活性化に向けて、 おおむね順調に推移している。												
数値目標の達成度	<p>1. 数値目標の達成率(「-」を除く「○」の割合) 3/3 ※うち注目指標(塗りつぶし項目)の達成率 1/1</p> <p>2. 各数値目標の達成状況一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th><th>達成率 (H24 目標)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 定住自立圏構想連携施策数 14 件を目指します。</td><td>○</td></tr> <tr> <td>② 定住自立圏域市町村をつなぐ公共交通について、持続可能な公共交通体系を構築するため、公共交通路線の見直しを実施します。H24 計画策定後に目標を設定</td><td>-</td></tr> <tr> <td>③ 定住自立圏域の観光入込客数810万人を目指します。(約 10%増)</td><td>-</td></tr> <tr> <td>④ 定住自立圏域の人口 10 万人当たりの医師数 287.5 人の維持を目指します。</td><td>○</td></tr> <tr> <td>⑤ 3 市町村の合併をして不満である(どちらかと言えば不満+不満) 市民の割合を、10%に減らします。(3.8%減)</td><td>○</td></tr> </tbody> </table> <p><数値目標の達成率の区分> ○:目標を達成済み ×:目標を達成できない -:判断できない</p>	指 標	達成率 (H24 目標)	① 定住自立圏構想連携施策数 14 件を目指します。	○	② 定住自立圏域市町村をつなぐ公共交通について、持続可能な公共交通体系を構築するため、公共交通路線の見直しを実施します。H24 計画策定後に目標を設定	-	③ 定住自立圏域の観光入込客数810万人を目指します。(約 10%増)	-	④ 定住自立圏域の人口 10 万人当たりの医師数 287.5 人の維持を目指します。	○	⑤ 3 市町村の合併をして不満である(どちらかと言えば不満+不満) 市民の割合を、10%に減らします。(3.8%減)	○
指 標	達成率 (H24 目標)												
① 定住自立圏構想連携施策数 14 件を目指します。	○												
② 定住自立圏域市町村をつなぐ公共交通について、持続可能な公共交通体系を構築するため、公共交通路線の見直しを実施します。H24 計画策定後に目標を設定	-												
③ 定住自立圏域の観光入込客数810万人を目指します。(約 10%増)	-												
④ 定住自立圏域の人口 10 万人当たりの医師数 287.5 人の維持を目指します。	○												
⑤ 3 市町村の合併をして不満である(どちらかと言えば不満+不満) 市民の割合を、10%に減らします。(3.8%減)	○												
個別施策の実施状況	<p>○進捗率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 3/3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>-</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別施策数</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td></tr> </tbody> </table> <p><進捗率の評価区分> A:工程表どおり実施済み B:概ね工程表どおり C:工程表より遅れている -:未着手</p>		A	B	C	-	合計	個別施策数	3	0	0	0	3
	A	B	C	-	合計								
個別施策数	3	0	0	0	3								

	○達成率 A又はB評価の施策数(「-」は除く) 2/3					
		A	B	C	-	合計
	個別施策数	1	1	1	0	3
〈達成率の評価区分〉 A:目標を達成済み B:順調に推移 C:遅れている -:判断できない						

II 個別施策の評価

6-1

定住自立圏構想の推進(中心市の宣言)

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	-

個別意見	・広域観光について、弘前市は青森と函館との連携を行えるが、近隣の地域は進んでいない。函館を視野に入れつつ、この中南地域で滞在型のプログラムを創れないか、期待したい。
------	--

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
6-1 定住自立圏構想の推進(中心市の宣言)	A	A
定住自立圏構想推進事業	A	A
定住自立圏共生ビジョン推進事業	A	A

6-2

(再)北東北の中核都市として、民間企業や公的団体の弘前市への着実な立地を推進

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	-

個別意見

-

■自己評価の内容		
個別施策名	進捗率	達成率
6-2 (再)北東北の中核都市として、民間企業や公的団体の弘前市への着実な立地を推進	A	C

6-3	市町村合併の効果の最大化と一体感の醸成を推進(合併効果促進事業)
-----	----------------------------------

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	—

個別意見	・目標が事業費ベースの進捗率であり、そのため主にハード面の進捗率であるが、豪雪など外的要因の影響を受けたのであれば、達成率としては、A評価に近いものである。
------	--

■自己評価の内容		
個別施策名	進捗率	達成率
6-3 市町村合併の効果の最大化と一体感の醸成を推進(合併効果促進事業)	A	B

約束7 市職員のパワーを引き出し、市役所の仕事力を高めます。

めざす姿	前向きに取り組む職員の育成により、市民ニーズの的確な把握やサービスの向上が図られ効率的・効果的な行政運営が実現しています。
------	---

I 約束部分の評価

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	—

個別意見	—
------	---

自己評価の内容																	
自己評価	取り組みの結果が表れていない項目もあるものの、職員の企画・提案によって、ショートムービー「りんごのうかの少女」の映画化、中心市街地に賑わいを戻した「駐車場無料開放」、駅前再開発ビル3階フロアにオープンした多機能行政施設「ヒロロスクエア」、その他にも市民や議会と対話しながら35事業を予算化させるなど、施策を積極的に展開しようとする職員が着実に増えていることから、めざす姿に向けて、 <u>成果があらわれています。</u>																
数値目標の達成度	<p>1. 数値目標の達成率(「-」を除く「○」の割合) 4/7 ※うち注目指標(塗りつぶし項目)の達成率 2/2</p> <p>2. 各数値目標の達成状況一覧</p> <table border="1"><thead><tr><th>指 標</th><th>達成率 (H24目標)</th></tr></thead><tbody><tr><td>① エリア担当制度による、町会等からの意見や要望等を措置した割合 100%を目指します。</td><td>○</td></tr><tr><td>② ボランティア・地域活動に参加している職員の割合 70%を目指します。</td><td>×</td></tr><tr><td>③ 市の施策や事業、各種市民サービスの市民満足度を高めます。</td><td>○</td></tr><tr><td>④ 職員の仕事ぶりの市民満足度を高めます。</td><td>×</td></tr><tr><td>⑤ 職員の窓口応対に対する市民の不満を解消していきます。</td><td>×</td></tr><tr><td>⑥ 財政調整基金は、計画期間を通じて 20 億円を維持します。</td><td>○</td></tr><tr><td>⑦ 地方債の繰上償還及び計画的な借入により、実質公債費比率 12.4%を目指します。</td><td>○</td></tr></tbody></table>	指 標	達成率 (H24目標)	① エリア担当制度による、町会等からの意見や要望等を措置した割合 100%を目指します。	○	② ボランティア・地域活動に参加している職員の割合 70%を目指します。	×	③ 市の施策や事業、各種市民サービスの市民満足度を高めます。	○	④ 職員の仕事ぶりの市民満足度を高めます。	×	⑤ 職員の窓口応対に対する市民の不満を解消していきます。	×	⑥ 財政調整基金は、計画期間を通じて 20 億円を維持します。	○	⑦ 地方債の繰上償還及び計画的な借入により、実質公債費比率 12.4%を目指します。	○
指 標	達成率 (H24目標)																
① エリア担当制度による、町会等からの意見や要望等を措置した割合 100%を目指します。	○																
② ボランティア・地域活動に参加している職員の割合 70%を目指します。	×																
③ 市の施策や事業、各種市民サービスの市民満足度を高めます。	○																
④ 職員の仕事ぶりの市民満足度を高めます。	×																
⑤ 職員の窓口応対に対する市民の不満を解消していきます。	×																
⑥ 財政調整基金は、計画期間を通じて 20 億円を維持します。	○																
⑦ 地方債の繰上償還及び計画的な借入により、実質公債費比率 12.4%を目指します。	○																

	<p>〈数値目標の達成率の区分〉</p> <p>○:目標を達成済み ×:目標を達成できない ー:判断できない</p>																								
個別施策の実施状況	<p>○進捗率</p> <p>A又はB評価の施策数(「-」は除く) 5/5</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>ー</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別施策数</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈進捗率の評価区分〉</p> <p>A:工程表どおり実施済み B:概ね工程表どおり C:工程表より遅れている ー:未着手</p> <p>○達成率</p> <p>A又はB評価の施策数(「-」は除く) 4/5</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>ー</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別施策数</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈達成率の評価区分〉</p> <p>A:目標を達成済み B:順調に推移 C:遅れている ー:判断できない</p>		A	B	C	ー	合計	個別施策数	5	0	0	0	5		A	B	C	ー	合計	個別施策数	1	3	1	0	5
	A	B	C	ー	合計																				
個別施策数	5	0	0	0	5																				
	A	B	C	ー	合計																				
個別施策数	1	3	1	0	5																				

II 個別施策の評価

7-2 職員提案による自主財源の確保(人事評価と連動した成果主義の徹底)	
評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	<ul style="list-style-type: none"> 項目名と事務事業名が整合していない、政策の内容が分かり難い。本来の目的に沿った、政策内容の整理が必要である。
個別意見	<ul style="list-style-type: none"> 説明を聞くと、自主財源の確保というよりは、職員の政策提言に力点を置いているように見受けられる。ここについては、現実に即した形に変えるのもひとつではないか。 ここは、自主財源だけのものではなくて、職員のアイデアや提案などから様々な改革とかを行おうというものではないのか。たまたま、お金がクローズアップされただけではないのか。

	<p>・研究成果として、スマートシティ構想に関連し国からの基金5億円を活用し、学校に太陽光パネルを設置したなどの実例があるのであれば、自己評価報告書などに記載するなどして、市民に伝えるべき。</p>
--	---

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
7-2 職員提案による自主財源の確保(人事評価と連動した成果主義の徹底)	A	B
(1)職員提案政策研究事業	A	B
(2)市長と職員の意見交換会	A	A
(3)新人事評価制度導入事業	A	A

7-3 エリア担当制度の検討など職員の地域活動への参加促進

評価結果	市の自己評価は妥当であると判断する。
附帯意見	・制度の趣旨は賛同できる。しかし、地域活動への職員の参加率も減少傾向にあることから、更なる発展を目指して取り組んでいただきたい。

個別意見	<p>・例えば、地域の伝統的な祭りがあれば、それに対して1%システムを活用して、そこにエリア担当職員にも参加してもらうなど、1%システムを活用した取り組みも考えられる。</p> <p>・エリア担当制度は推進する必要がある。例えば東日本大震災の時は、市職員も被災者になってしまい、情報収集が困難であった。一番欲しい情報は、各地域の状況である。その地区に居住するエリア担当職員が活用できれば、情報収集も機能するのではないか。それにより、災害に強いまちづくりにも繋がると思う。</p> <p>・プライバシーの問題や、どこまで強制できるかなど、様々な検討を要することはあるが、例えば市の職員は全員エリア担当になってもらうということもいいのではないか。</p>
------	---

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
7-3 エリア担当制度の検討など職員の地域活動への参加促進	A	B

7-4 窓口改革運動の実施**評価結果**

市の自己評価は妥当であると判断する。

附帯意見

・窓口の対応が改善されていることについては、本会議においても確認した。今後も引き続き改善に取り組んでいただきたい。

個別意見

・この改革も職員提案からのものであったと思うが、窓口対応に関しては本当に良くなっている。しかし、窓口でもうっかりミスや、少しおしゃべりをしているだけで、評価が変わってくる。市職員全員が、見られているという意識を高めていけば数値はもっと改善していくと思う。

■自己評価の内容

個別施策名	進捗率	達成率
7-4 窓口改革運動の実施	A	B

3 市民評価を終えて

委員長 村松 恵二

市民評価活動は、現在の市政のもとで始められた新しい活動です。こうした活動は行政の改善に不可欠なものなのですが、第三者評価の名前にふさわしい活動になっているのか、委員長としては忸怩たる思いがあります。この活動をさらに有効なものにするためには、市民からの後押しが必要です。市民評価会議の報告書や議事概要をはじめ、関連する資料はすべて市のホームページで公開されています。市民の皆さんには、これらの資料を閲覧していただいて、事務局に(あるいは市民評価アンケートで)ご意見をお寄せいただけるよう、お願いしたいものです。

副委員長 清野 真由美

委員として3年目を迎えた本年の市民評価会議は、確実に今までの本会議の成果を感じ取ることができるものであった。前年度までの「市民の声=評価会議からの意見」を実直に受け止め、より良い市政運営がスピード感をもって行われるよう動き出してくれた部署がいくつもあった。「官と民の協働」が声高に叫ばれている中、この市民評価会議もまさしく一体となって進んでいくひとつの形ではないかと今後も期待をしている。

委員 一戸 勝美

アクションプランの内容に、たくさんの素晴らしい施策がちりばめられていても、それを具現化していくためには市民と行政の深い理解と信頼感が必要であるが、施策を進めている行政側の主観的な自己評価と、おおまかな情報を基にした市民側から見た客観的な評価を同じレベルで整合性を取るのは非常に難しいことだと感じました。

委員 新堀 猛

今回初めて市民評価会議委員として参加したが、葛西市長が掲げる施策の多さに改めて感嘆させられた。時間の都合で全ての施策を評価することは出来なかつたが、自己評価が「遅れている」とされる施策に関しては、目標値を下方修正することなく、各部局において達成できるよう検討していただきたい。施策の達成は弘前市をより良くすることに繋がることを市民も市職員も自覚することが「弘前市アクションプラン」の持つ意義であると考える。

委員 村上 美栄子

今回、市民評価会議委員として貴重な機会を与えられ、数多くのアクションプランを拝見させて頂きました。市長さんははじめ、行政の方々の思いや頑張りがとても見られる会議でした。しかし、余りにもプランの数が多い為、達成しているかどうかの検討・判断も全部できない状態にあるかと思われます。弘前市が今よりもっと住みやすく魅力ある街に発展していく為、もう少し整理し、密度の濃いアクションプランに変わって欲しいと思います。微力ながら携われ、私自身とても勉強になりました。

委員 田澤 俊則

公的機関(役所)が自ら評価する姿勢は、企業的感覚ですばらしい。今後の弘前市の発展に大いにプラスになると思う。特に身近なことに、職員の窓口改革、対応がいい。全ての分野に共通することだが、人(職員)で決まる。目標設定、達成においても、甘く見るか厳しく見るかもである。目くばりや気くばり、思いやりも兼ね備えた人づくり、行政の枠を超えた弘前市創りをさらに伸ばしていただきたいことを期待したい。

委員 佐藤 さくら

私は、恥ずかしいことに弘前市民でありながら市政に対して疑問は持っていましたが、深い知識はありませんでした。今回、役不足を承知で委員として参加いたしました。私の声を市民の声として市政に反映していただければ幸いです。市職員の方々の「市政を広く知らせる努力」を大いに感じました。これからは我々市民の「深く知ろうという努力」が市政をよりよくする為に必要なのではないでしょうか。

委員 相馬 崇治

弘前市市民評価会議が担う役割の重要性とそれに委員として出席することの責任について、考えれば考えるほど大きなプレッシャーがのしかかる様で、あつと言う間の四ヶ月間でした。弘前市アクションプランについて深く考えて、弘前市市民評価会議に関わられたことは、市民として幸せなことだったと振り返ると共に、委員としての責任を果たしたいとまた改めて思っています。

弘前市市民評価会議設置要綱

(設置)

第1条 弘前市アクションプランの評価に関する事項について、第三者評価等を実施するため、弘前市市民評価会議（以下「評価会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 評価会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 7つの約束の達成状況の評価に関すること。
- (2) 個別施策の達成状況の評価に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、評価及び提言に関すること。

(組織)

第3条 評価会議は、委員8人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
 - (2) 各種団体代表
 - (3) 市民
 - (4) 前3号に掲げる者のほか、市長が適当であると認める者
- 3** 前項第3号に掲げる者の選任は、公募の方法によるものとする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から翌年度の末日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第5条 評価会議に委員長及び副委員長を置く。

- 2** 委員長及び副委員長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3** 委員長は、評価会議の会務を総理し、評価会議を代表する。
- 4** 委員長は、評価会議の議長となる。
- 5** 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 評価会議の会議は、委員長が招集する。

2 評価会議の会議は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことがで

きない。

- 3 評価会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(部会)

- 第7条** 第2条各号に掲げる所掌事項について、必要な調査、研究等をさせるため、評価会議に部会を置くことができる。
- 2 部会は、委員長が委員のうちから指名するものを持って組織する。
 - 3 各部会に部会長を置き、それぞれ委員長又は副委員長をもって充てる。
 - 4 前条の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、同条中「評価会議」とあるのは「部会」と、「委員長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

(会議の公開)

- 第8条** 評価会議及び部会の会議は、原則として公開とする。

(庶務)

- 第9条** 評価会議の庶務は、経営戦略部行政経営課において処理する。

(雑則)

- 第10条** この要綱に定めるもののほか、評価会議の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第6条の規定に関わらず、初回の評価会議の会議は、市長が招集する。

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成25年4月16日から施行する。

平成25年度弘前市市民評価会議委員名簿

No.	役職	氏 名	所属機関等
1	委員長	村松 恵二	弘前大学人文学部教授
2	副委員長	清野 眞由美	特定非営利活動法人 弘前こどもコミュニティ・ピーぷる 代表理事
3	委員	一戸 勝美	弘前商工会議所青年部会長
4	委員	新堀 猛	一般社団法人 弘前市医師会 事務局長
5	委員	村上 美栄子	農業生産法人(有)Anekko 代表取締役
6	委員	田澤 俊則	沢田ろうそく祭り実行委員会委員長
7	委員	佐藤 さくら	公募委員
8	委員	相馬 崇治	公募委員